

クササンダンカ

学名 Pentas lanceolata

科名 アカネ

別名 ペンタス

区分 まちかど しょくぶつ
街角の植物

分布 マダガスカル、^{ねったい}熱帯アフリカ、
^{はんとうげんさん}アラビア半島原産

葉の形 ひしんけい だえんけい
被針形、楕円形

葉の縁 ぜんえん
全縁

葉の先 えいせんけい
鋭尖形

葉の種類 たんよう
単葉

葉の付方 たいせい
対生

葉の基部

実の種類

花・萼色 はな がくいろ ちもちろ しろうとうたしよく
桃色、白色等多色



せつ めい 説 明

^{ひがしねったい}東熱帯アフリカから^{はんとうなんぶげんさん}アラビア半島南部原産の^{たねん}多年
生草本で、^{せいそうほん}成長すると^{せいちよう}根元が木質化し^{ねもと}樹高が^{もくしつか}1mを超
^{じゆこう}えます。花はサンダンカに似て、^{はな}枝の先に^{えだ}数多く^{さき}集ま
^{かずおお}って^{あつ}咲く花です。花びらは^{はな}5枚（サンダンカは^{まい}4枚）
で^{まい}先が尖っているのが特徴です。^{さき}分枝力が強く、^{とくちよう}枝が
^{ぶんしりよく}先端に広がる性質があり、^{つよ}花の色は^{えだ}赤、^{あか}桃色、^{もちいろ}白など
^{しろ}があります。